

本校の結果と分析

札幌市立東白石中学校

去る4月および5月、今年度の「全国学力・学習状況調査」が、全国の小学校6年生と中学校3年生全員を対象に行われました。この調査の目的は、「全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、これまでの教育の成果を検証し、課題となることを見いだしていくこと」にあります。各学校としては、全国ならびに自治体(北海道・札幌市)の結果と合わせて、学校としての成果と課題を見つめ、今後の教育活動の充実や改善に役立てていくことに活用されます。すでに報道されましたように、今年の全国の調査結果、続いて札幌市の調査結果の概要が発表になりました。3年生の生徒本人及び保護者の皆様には、個人の調査結果票を返却済みですが、本校全体としての結果と今後へ向けての課題や取組の方向性について、全学年の保護者の皆様にお知らせいたします。

1 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等

本校の平均値を全国平均正答率と比較して、以下の通りに表記しています。

- ・「上回っている」…………… +3.1 ポイント以上
- ・「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」…… +3.0 ポイント以内
- ・「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」…… -3.0 ポイント以内
- ・「下回っている」…………… -3.1 ポイント以下

【国語】

領域	本校の概要	主な課題	改善の方向
言葉の特徴や使い方に関する事項	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	語彙の確実な理解と文脈に応じた適切な活用。	新しく出会った言葉の意味を調べ、文章や発言の中で実際に使う機会の充実。
情報の扱い方に関する事項	全国平均を下回っている	複数の情報から必要な内容を編集・整理する力。	目的や読み手に合わせて情報を収集・分類・編集する活動の強化。
話すこと・聞くこと	全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	相手の反応を踏まえた丁寧なコミュニケーション。	話し合いやプレゼンテーションにおいて、場の状況に応じた表現工夫の指導の充実。
書くこと	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	読み手の立場に立ち論理的に文章を構成する力。	多様な視点から自分の意見を根拠とともに論理的に述べる記述指導の充実。
読むこと	全国平均を上回っている	文章の内容や表現の工夫を正確に読み取る力。	著者の表現効果について根拠を明確にして考察・討論する発展的学習の継続。

【数学】

領域	本校の概要	主な課題	改善の方向
数と式	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	基本計算力の定着と数量の文字式表現。	基礎・基本的な計算ルールの定着を図る 反復学習と文字式の活用練習の充実。
図形	全国平均とほぼ同程度である。	図形の性質の理解と論理的な証明の構想。	図形の性質を利用して成り立ちを数学的な言葉で説明・証明する思考の育成の充実。
関数	全国平均を下回っている。	変化や対応の規則性の把握、グラフからの情報読み取り。	表やグラフ、式を相互に関連付け、具体的な事象から必要な情報を読み取る指導の充実。
データの活用	全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	データの傾向把握や相対度数などの概念理解。	データの散らばりや特徴を自ら分析・解釈し、判断の根拠として説明する活動の充実。

【英語】

領域	本校の主な課題	改善の方向
聞くこと	日常的な会話や発表を聞き、目的や場面に応じて必要な情報や要点を正確に読み取ること。	時間経過や場所の移動、文脈に応じた適切な情報を整理しながら聞き取る活動の充実。
読むこと	短い文章やまとまりのある文章から、登場人物の心情の変化や書き手の主張・要点を捉えること。	文脈や場面設定に注意を払い、根拠となる文を見つけながら概要や要点を読み取る活動の充実。
話すこと (やり取り)	日常的话题について、相手からの質問や依頼に即座に応じて自身の考えや事実を伝えること。	ペアワークやグループワークを通じ、場の状況や相手の応答に応じた即興的なやり取りを行う活動の充実。
話すこと (発表)	社会的な話題や自身の意見について、話の構成や理由を明確にしてまとまりのある内容を話すこと。	自分の考えやその理由を接続詞などを用いて整理し、スピーチや発表形式で伝える活動の充実。
書くこと	与えられた情報や読んだ内容を踏まえ、自分の考えやその理由を正しく整った文章で表現すること。	読んだことや聞いたことに対する自分の意見や理由を、語彙・文法事項を正しく使って記述・推敲する活動の充実。

② 生活習慣や学習環境(生徒質問紙)の調査結果から *生徒が自分に最も当てはまるものを選択する形式で回答。

生徒の豊かな人権意識や自己有用感の高さがうかがえる一方で、家庭学習や読書習慣に関する課題が明確になりました。

【肯定的な考えを示す回答の割合が多かった設問】

豊かな人間性と規範意識

- 「いじめはどんな理由があってもいけない」
- 「人が困っているときは進んで助けている」
- 「人の役に立つ人間になりたい」

協働的な学びと人間関係

- 「友達や周りの人の考えを大切にして協力している」
- 「友達関係に満足している」「学校に行くのが楽しい」

自己有用感・自己肯定感

- 「自分にはよいところがあると思う」
- 「幸せな気持ちになることが多い」
- 「先生は自分のよいところを認めてくれている」

【否定的な考えを示す回答の割合が多かった設問】

家庭での学習習慣

平日や休日に自宅で自主的に学習に取り組む時間・習慣

読書習慣・活字離れ

学校外での読書時間や、家庭での新聞・書籍の所有・閲覧機会

ICT 機器の学習活用

授業以外での学習目的によるタブレット・PC 端末の活用度

全体的な傾向や今後の改善の方向

本校の「学ぶ力」育成に向け、学校と家庭が連携して以下の重点課題に取り組みます。

1. 授業改善 ～ 単元を通じた「主体的・対話的で深い学び」

- ・思考力・判断力・表現力を高めるため、仲間と対話しながら課題を解決する協働学習を推進します。
- ・タブレット端末等の ICT や図書資料を活用し、情報を編集・整理して発信する言語活動を強化します。

2. 家庭学習の習慣化と生活リズムの定着

- ・計画的な家庭学習を定着させるため、「睡眠」「朝食」「ゲームやスマートフォンの利用時間ルール」など基本的生活習慣の確立を目指します。
- ・札幌市「さっぽろっ子『学び』のススメ（まほうのかいわ）」等を活用し、ご家庭での前向きな声かけや振り返りへのご協力をお願いいたします。

3. 学校教育目標の達成に向けた心の育成

- ・道徳や総合的な学習の時間を軸に、「人の役に立ちたい」「よりよい社会をつくりたい」という前向きな意識を伸ばし、地域や社会の中で自分らしさを発揮できる生徒を育みます。

以上、今年度の「全国学力・学習状況調査」の方向と調査結果の概要について、お知らせいたしました。この結果を踏まえ、今後も、多様な考えを認め、高め合う姿勢を育て、自己有用感を高めること、また、いつでも気軽に相談できる環境下で学校生活を送れるようにすることなど、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後も保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら生徒一人一人の学力や生活意識の向上に取り組んでまいります。引き続き、生活、学習への支援を御家庭でも御協力をお願いします。

さっぽろっ子「学び」のススメ『まほうのかいわ』 「学習習慣」「運動習慣」「生活習慣」づくりを支援する合言葉

ま：学んだことを一緒に振り返る

ほう：方法を一緒に考える

の：伸びを認め、ほめる

かい：改善に向けて生活を一緒に振り返る

わ：わからないこと、できないことに挑戦できるよう励ます